

2022年2月期 第1四半期 決算説明資料

2021年7月8日

ツインバード工業株式会社
証券コード：6897

2022年2月期 第1四半期決算ハイライト



売上高は大幅成長、収益性も大きく改善し、黒字転換を実現

財務体質はさらに改善し、戦略的な投資余力を確保

売上高

39.4億円
(前年同期比 +70.4%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

4.5億円
(前年同期比 黒字転換)

売上高
総利益率

40.0%
(前年同期比 +10.0 pt.)

FPSC事業
セグメント利益*

5.3億円
(前年同期比 約38倍)

営業利益

6.6億円
(前年同期比 黒字転換)

家電製品事業
セグメント利益*

3.4億円
(前年同期比 +402%)

営業利益率

16.9%
(前年同期比 黒字転換)

自己資本比率

70.9%
(前期末比 +8.7 pt.)

※調整額（全社費用218百万円）を除外 詳細はP23を参照

■ 第1四半期実績

- 売上高は前年同期比1.7倍の高成長、収益性もマージンが大きく改善し、黒字転換
 - 武田薬品工業向け SC-DF25WL（新型コロナウイルス感染症ワクチン用ディープフリーザー）の大型案件の出荷が業績に大きく貢献
- 財務体質はさらに改善し、戦略的な投資余力を確保（実質的に無借金経営）

■ 業績予想

- 上期業績予想：売上高、利益とも上方修正
 - 厚生労働省より職域接種向けに SC-DF25WL 総額 3 億円（本体価格）を追加受注
 - 一部ブランディング投資などの投入時期を見直し下期へ集中投下
- 通期業績予想：大幅な増収増益を予想（営業利益は前期比約1.3倍と大きく増益）
 - 下期は減収減益の見通し（前年下期に厚生労働省向け SC-DF25WL 大型案件の収益を計上）
原材料や海上運賃などの海外製造における原価高騰の影響を反映
博報堂との協業によるブランディング投資などTWINBIRDブランド価値向上のための戦略投資を加速

2022年2月期 第1四半期決算概要

2022年2月期 第1四半期損益概況



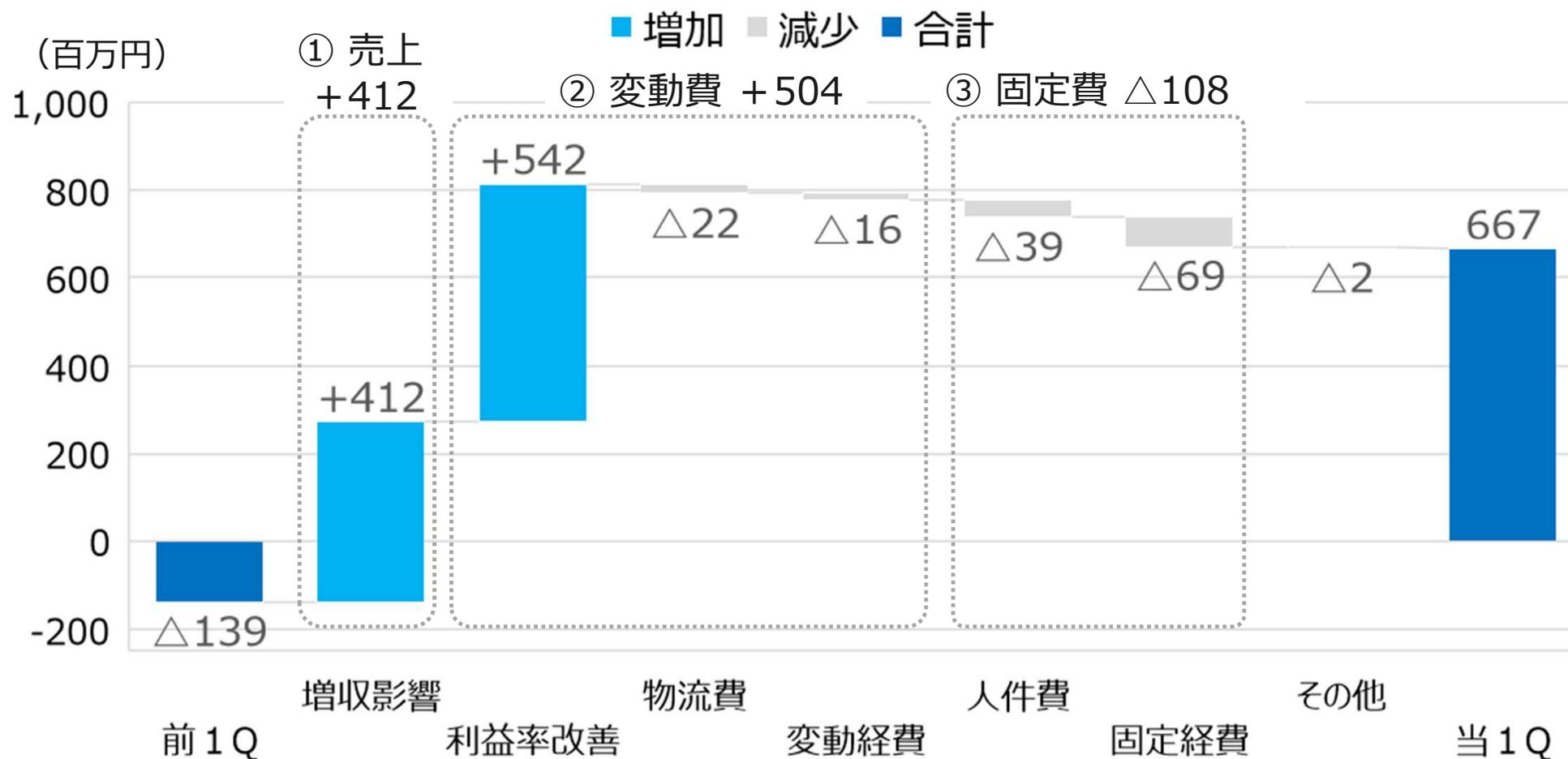
武田薬品工業向け SC-DF25WL の大型案件の出荷が業績に大きく貢献して黒字転換

単位：百万円	2021年度	2020年度			(参考)
	1Q 実績	1Q 実績	前年同期比 差額	成長率	2021年度 2Q累計 業績予想
売上高	3,945	2,315	1,630	70.4%	7,200
売上総利益	1,577	694	883	127.1%	
売上高比	40.0%	30.0%	10.0pt		
営業利益	667	△139	806	-	400
売上高比	16.9%	-6.0%	-		5.6%
経常利益	623	△182	805	-	300
四半期純利益又は四半期純損失 (親会社株主帰属分)	459	△137	597	-	200

©TWINBIRD CORPORATION All rights reserved. ※ 業績予想は2021年4月8日時点の公表値

営業利益：前年同期比増減要因分析

武田薬品工業向け SC-DF25WL の大型案件の出荷が増収及び利益率改善に大きく貢献



セグメント別 第1四半期業績概況

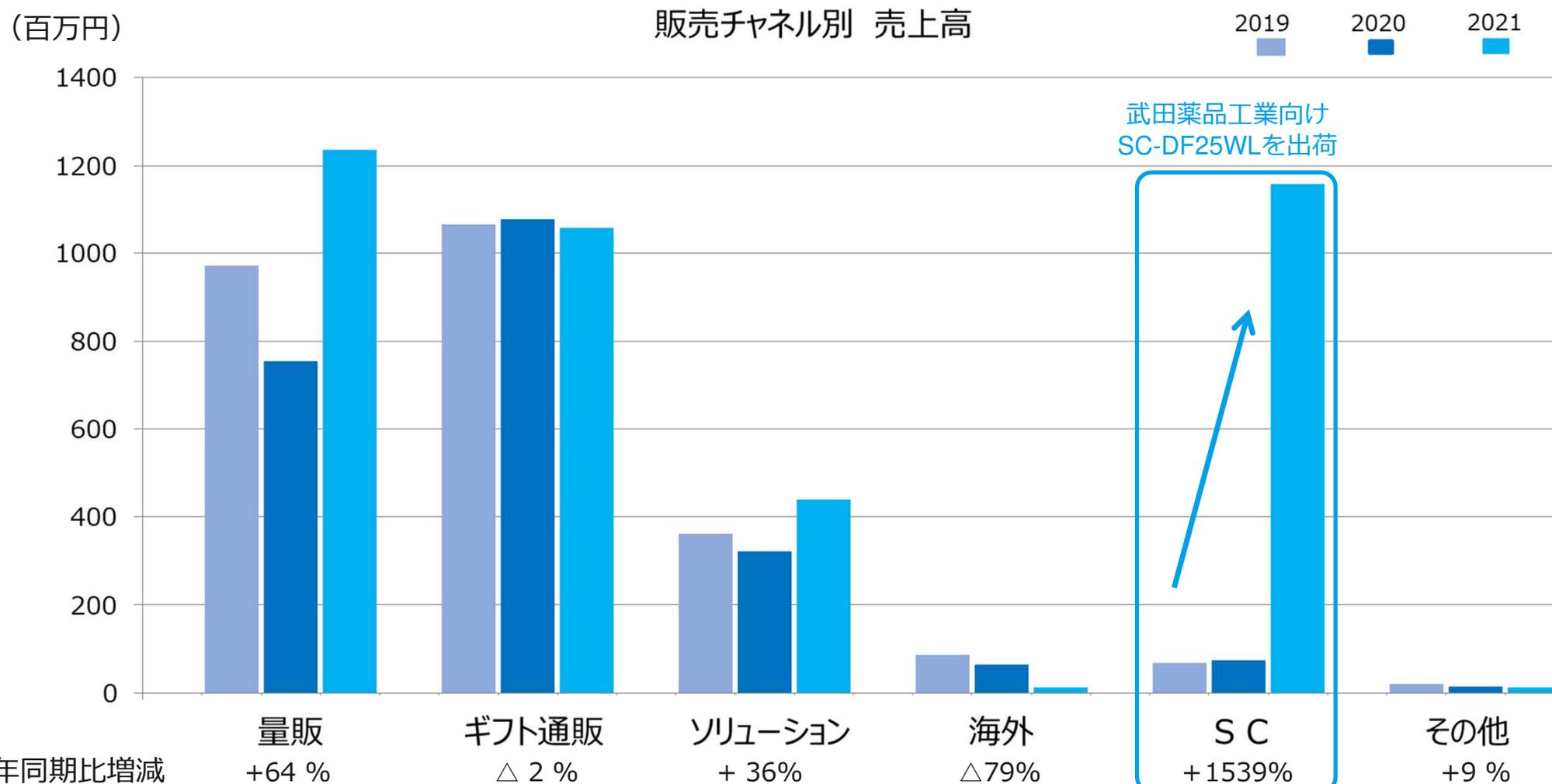


- 家電製品事業**
 - 業務用家電製品やOEM製品などのソリューションビジネスが昨年のコロナ禍から復調傾向
 - 全自動コーヒーメーカーなどの一部調理家電が巣ごもり需要で引き続き堅調
- FPSC事業**
 - 武田薬品工業向け SC-DF25WL 大型案件の出荷が完了

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2021年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率	2021年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率
家電製品事業 売上高比	2,803	2,245	557	24.8%	346 12.4%	69 3.1%	277 +9.3pt	402%
FPSC事業 売上高比	1,142	69	1,072	1,539%	539 47.2%	14 20.4%	524 +26.8pt	3,691%
調整額					△218	△222	3	
全社 計 売上高比	3,945	2,315	1,630	70.4%	667 16.9%	△139 -	806 -	-

※当期より全社費用を調整額とし、各セグメント利益から除外しています 詳細はP23をご参照ください

販売チャネル別 売上高の推移



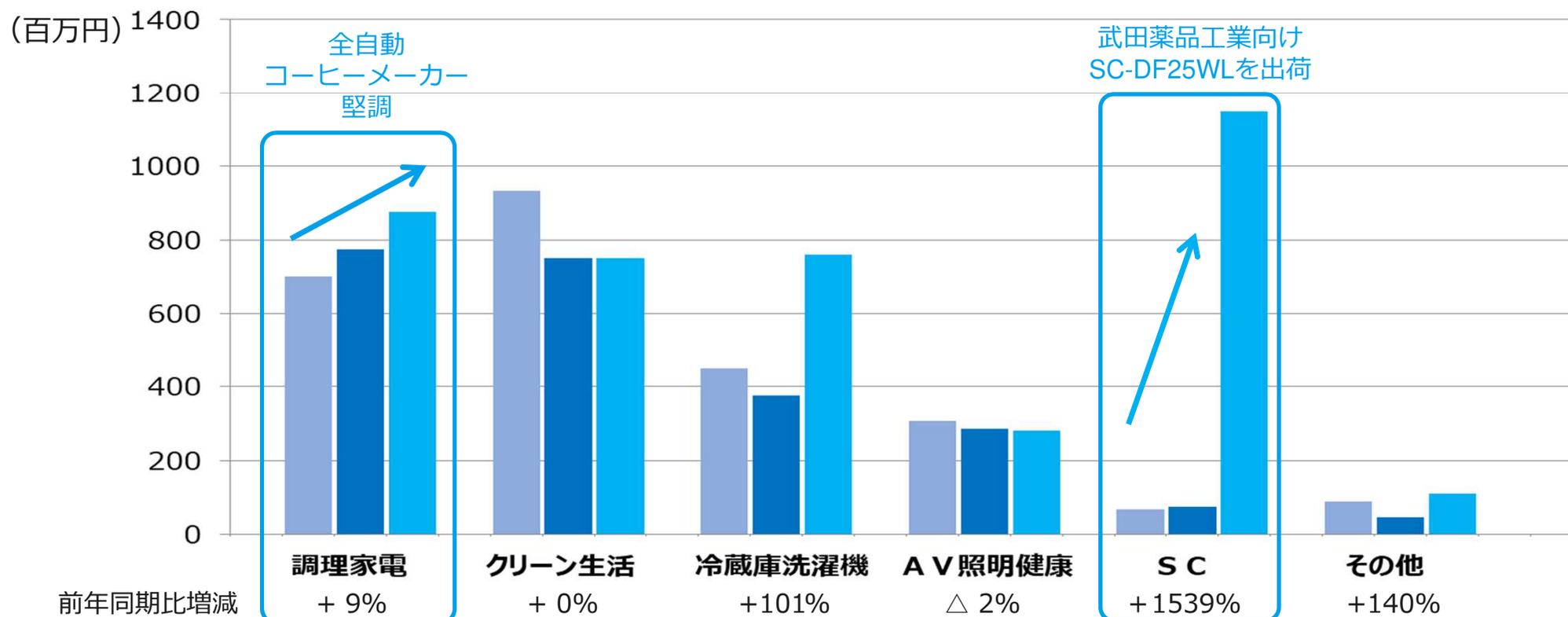
商品ジャンル別 売上高の推移

商品ジャンル別 売上高

2019年

2020年

2021年



温度ロガー付き
ディープフリーザー25L
SC-DF25WL



全自動
コーヒーメーカー
CM-D465B



センサー付
フラット電子レンジ
DR-F281W



2ドア冷凍冷蔵庫
HR-F911W



全自動電気洗濯機
7.0kg
WM-EC70W

連結貸借対照表



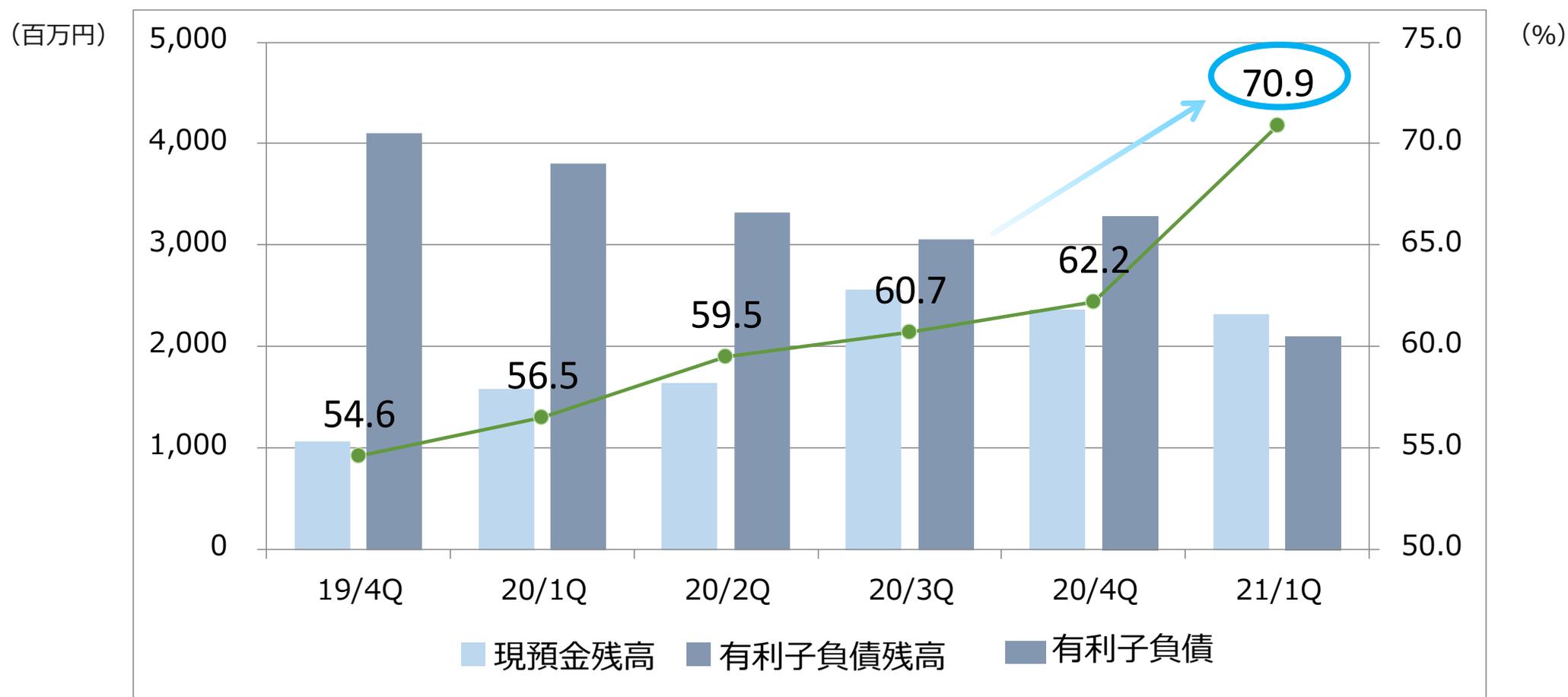
厚生労働省向け SC-DF25WL 大型案件について売掛債権を回収し、長短借入金を圧縮 財務体質がさらに改善

単位：百万円	2021年度			2020年度			
	1 Q末	前期末	増減	1 Q末	前期末	増減	
現預金	2,314	2,369	△55	仕入債務	376	451	△75
売上債権	1,467	2,963	△1,496	短期借入金	100	1,050	△950
たな卸資産	3,392	2,899	492	長期借入金	1,647	1,856	△209
その他	387	267	119	その他	1,354	1,544	△189
流動資産 計	7,561	8,501	△939	負債 合計	3,478	4,902	△1,424
有形固定資産	3,834	3,862	△27	資本金・資本剰余金	5,093	5,093	0
無形固定資産	113	119	△6	利益剰余金	3,304	2,942	362
投資その他資産	461	488	△26	その他	94	33	61
固定資産 計	4,409	4,470	△61	純資産合計	8,492	8,068	423
資産 合計	11,971	12,971	△1,000	負債&純資産合計	11,971	12,971	△1,000

財務安全性の推移（四半期別）

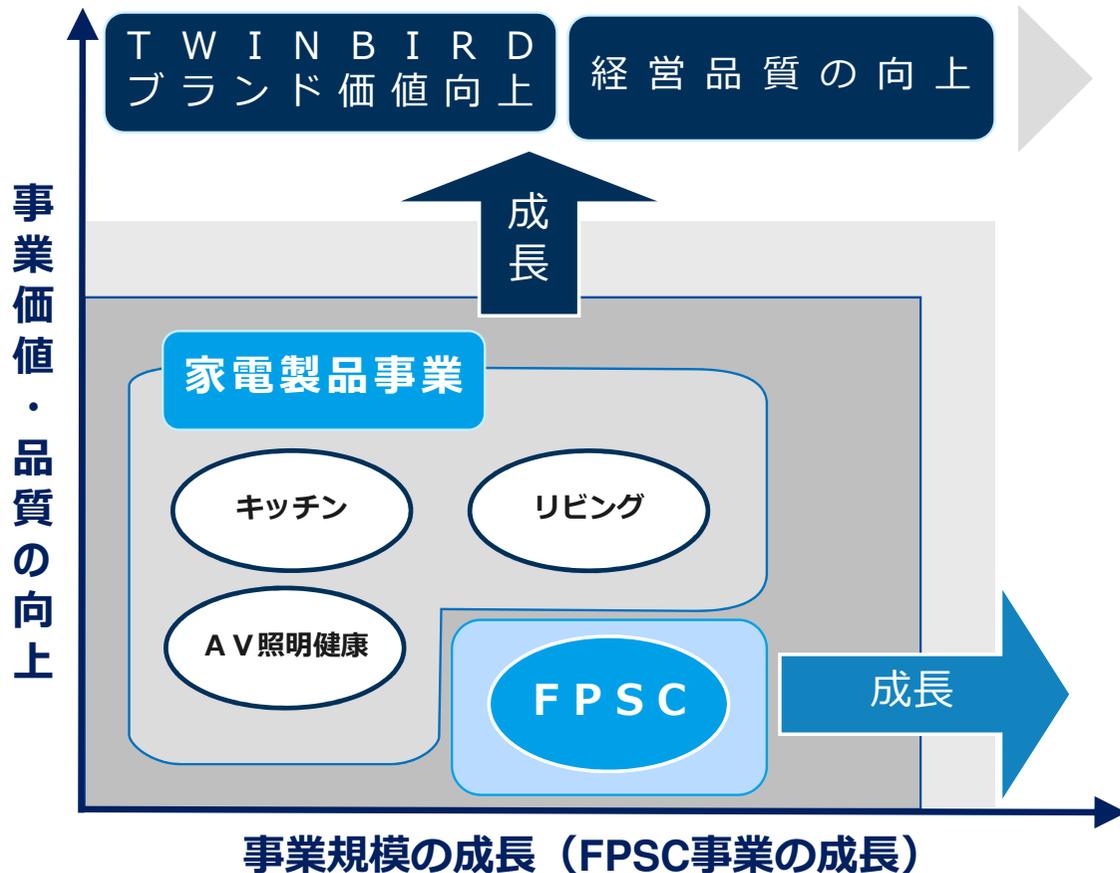
有利子負債残高はさらに減少し、自己資本比率は前期末より+8.7ポイント改善

- 現預金残高は有利子負債残高を上回り、戦略的な投資余力を確保（実質的に無借金経営）



2022年2月期 業績予想について

新中期経営計画（2020－2022）



2021年度の取組み

既存事業のさらなる成長

- 主力事業である家電製品事業においては、収益性の改善及び経営品質の向上を目指す

第2の柱となる事業の確立

- FPSC事業の事業化を加速し、新たな成長性・収益性の確保を目指す

成長事業への投資 （FPSC事業の成長投資）

成長事業の進展

- 製造設備に係る設備投資
- 開発及び製造に係る人材投資

FPSC事業の拡大

- 医療用ワクチンの輸送用途等需要拡大への取組み
- 医薬分野から他分野への展開

上期業績予想の修正

2022年2月期の上期業績予想：FPSC事業の追加受注などにより、業績予想を上方修正

主な修正理由

- 厚生労働省より職域接種向けに SC-DF25WL を追加受注 7月出荷予定
- 一部ブランディング投資などの投入時期を見直し下期へ集中投下

単位：百万円	2021年度 上期				(参考)		
	予想修正案 (7月8日)	前回予想 (4月8日)	増減額	増減率	前年同期 実績	差額	成長率
売上高	7,370	7,200	170	2.4%	5,237	2,132	40.7%
営業利益 売上高比	710 9.6%	400 5.6%	310 +4.1pt	77.5%	△97 -1.9%	807 +11.5pt	-
経常利益 売上高比	630 8.5%	300 4.2%	330 +4.4pt	110.0%	△161 -3.1%	791 +11.6pt	-
四半期純利益* 売上高比	460 6.2%	200 2.8%	260 +3.5pt	130.0%	△120 -2.3%	580 +8.5pt	-

* 親会社株主帰属分

セグメント別上期業績予想（修正後）

2022年2月期の上期業績予想（修正後）：FPSC事業の業績貢献が大きく、増収増益を予想

家電製品事業

- 業務用家電やOEM需要は昨年のコロナ禍から復調
- 全自動コーヒーマーカーなどの一部調理家電が巣ごもり需要で引き続き堅調

FPSC事業

- 武田薬品工業株式会社向け SC-DF25WL の出荷が4月に完了
- 厚生労働省より職域接種向け SC-DF25WL を追加受注 7月出荷予定

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2021年度 上期予想	2020年度 上期実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率	2021年度 上期予想	2020年度 上期実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率
家電製品事業 売上高比	5,760	5,079	680	13.4%	460	303	156	51.6%
					8.0%	6.0%	+2.0pt	
FPSC事業 売上高比	1,610	157	1,452	922.3%	710	25	684	2,637%
					44.1%	16.5%	+27.6pt	
調整額					△460	△426	△33	7.8%
全社 計 売上高比	7,370	5,237	2,132	40.7%	710	△97	807	-
					9.6%	-1.9%	+11.5pt	

通期業績予想



2022年2月期の通期業績予想：大幅な増収増益を予想

- 上期のFPSC事業大型案件が貢献し、通期で営業利益は前期比約1.3倍と大きく増益
- 下期は減収減益の見通し（前年下期に厚生労働省向け SC-DF25WL 大型案件の収益を計上）

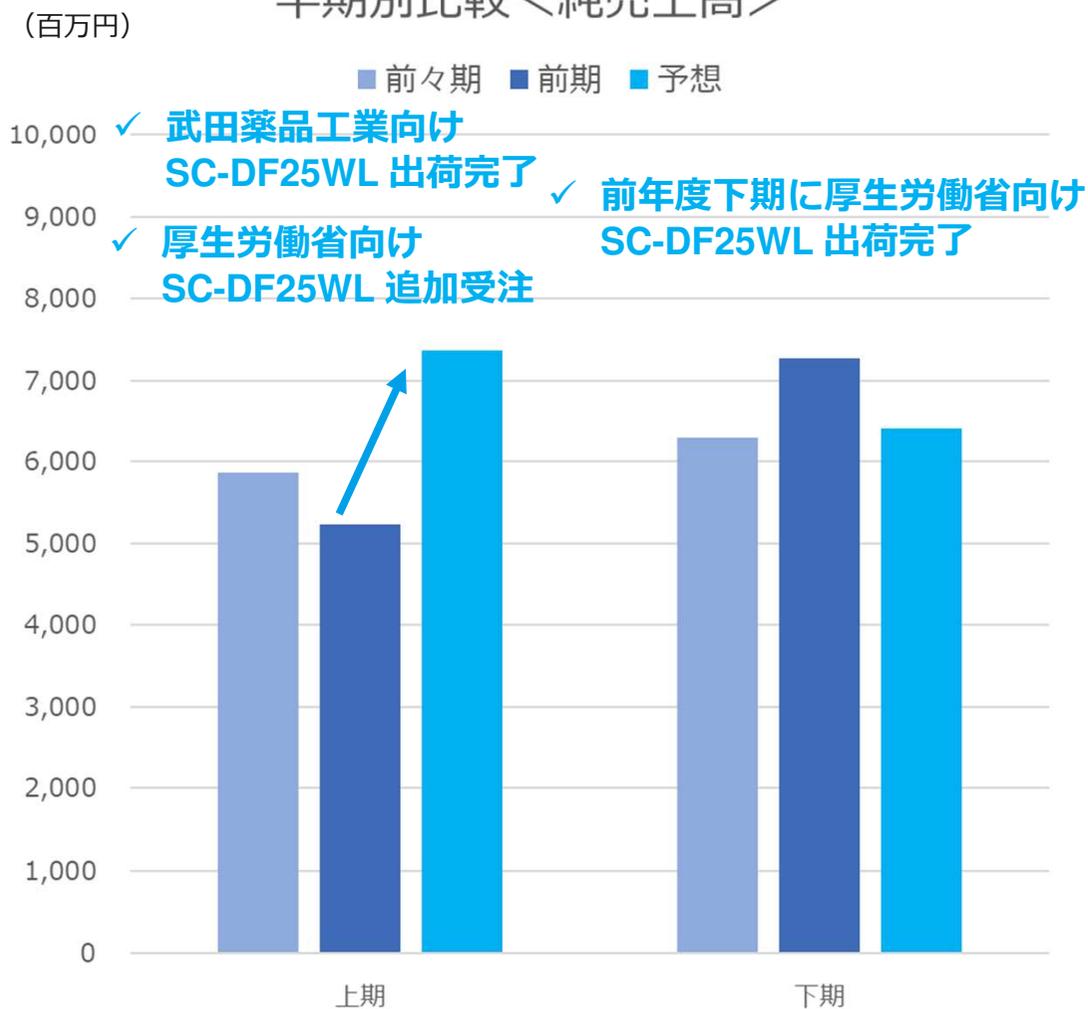
現時点においては、下期の国内における SC-DF25WL の大型受注を織り込まず
 原材料や海上運賃などの海外製造における原価高騰の影響を反映
 博報堂との協業によるブランディング投資などTWINBIRDブランド価値向上のための戦略投資を下期に集中投下

単位：百万円	上期				下期				通期			
	2021年度	前年同期	前年同期比		2021年度	前年同期	前年同期比		2021年度	前年同期	前年同期比	
	修正予想	実績	差額	成長率	業績予想	実績	差額	成長率	業績予想	実績	差額	成長率
売上高	7,370	5,237	2,132	40.7%	6,420	7,268	△848	-11.7%	13,790	12,505	1,284	10.3%
営業利益 売上高比	710 9.6%	△97 -1.9%	807 +11.5pt	-	110 1.7%	706 9.7%	△596 -8.0pt	-84.4%	820 5.9%	608 4.9%	211 +1.1pt	34.7%
経常利益 売上高比	630 8.5%	△161 -3.1%	791 +11.6pt	-	40 0.6%	645 8.9%	△605 -8.3pt	-93.8%	670 4.9%	484 3.9%	185 +1.0pt	38.4%
当期純利益* 売上高比	460 6.2%	△120 -2.3%	580 +8.5pt	-	10 0.2%	284 3.9%	△274 -3.8pt	-96.5%	470 3.4%	164 1.3%	305 +2.1pt	186.5%

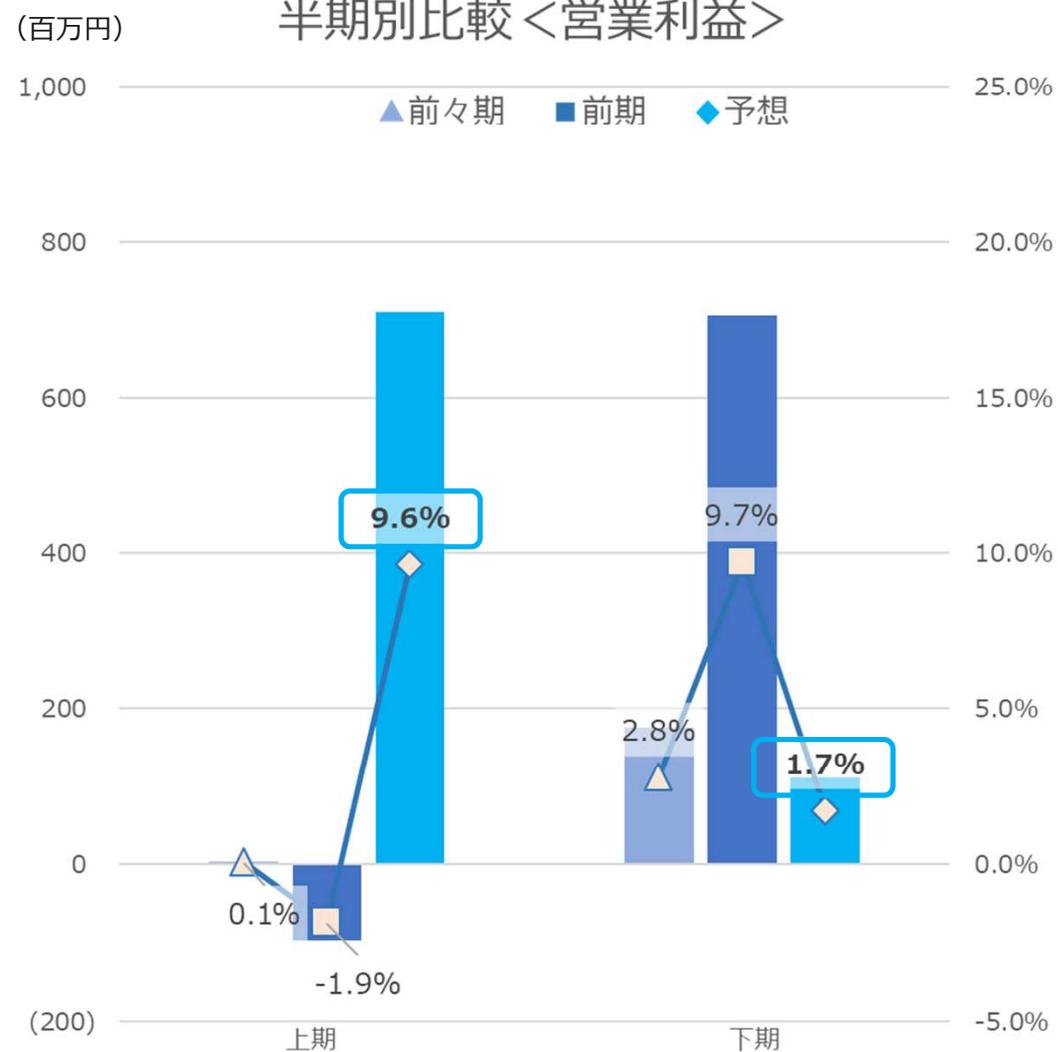
* 親会社株主帰属分

半期別 売上高・営業利益

半期別比較 <純売上高>



半期別比較 <営業利益>



セグメント別通期業績予想



2022年2月期の通期業績予想：[家電製品事業、FPSC事業とも大幅な増益を予想](#)

家電製品事業

- 昨年のコロナ禍影響による低迷から業務用家電、OEM需要が復調傾向
- 下期に海外製造における原価高騰等の影響を受けることが予想されるものの、[戦略商品の導入](#)や[博報堂との協業によるTWINBIRDブランド価値向上のための戦略投資効果](#)で通期増収増益を予想

FPSC事業

- 上期の武田薬品工業向けの大型案件や厚生労働省向けの追加受注が大幅増収増益に貢献（下期は現時点で国内における SC-DF25WLの大型受注は織り込まず）
- 国内では来年以降の新型コロナワクチンが定期接種化された場合を想定した需要への対応やサービスビジネスの立ち上げ、海外では対象地域拡大などの取り組みに注力

【下期業績予想】

【通期業績予想】

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2021年度 下期予想	2020年度 下期実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率	2021年度 下期予想	2020年度 下期実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率
家電製品事業 売上高比	5,840	5,872	△32	△0.6%	590	611	△21	△3.5%
					10.1%	10.4%	-0.3pt	
FPSC事業 売上高比	580	1,395	△815	△58.5%	90	642	△552	△86.0%
					15.5%	46.0%	-30.5pt	
調整額					△570	△548	△21	4.0%
全社計 売上高比	6,420	7,268	△848	△11.7%	110	706	△596	△84.4%
					1.7%	9.7%	-8.0pt	

売上高				セグメント利益（営業利益）			
2021年度 通期予想	2020年度 通期実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率	2021年度 通期予想	2020年度 通期実績	前年同期比 差額	前年同期比 成長率
11,600	10,952	647	5.9%	1,050	915	134	14.7%
				9.1%	8.4%	+0.7pt	
2,190	1,553	636	41.0%	800	668	131	19.7%
				36.5%	43.0%	-6.5pt	
				△1,030	△974	△55	5.7%
13,790	12,505	1,284	10.3%	820	608	211	34.7%
				5.9%	4.9%	+1.1pt	

お客様起点のこだわりの商品開発

お客様起点の高付加価値新商品の発売と評価

- ✓ デザインと特化した機能を高レベルで融合させ、ターゲットユーザーに「感動と快適」の体験をご提供
- ✓ クラフトマンシップと共創の精神で市場創造していく

下期に戦略的新商品を市場導入（予定）

グッドデザイン賞



2019年度受賞
・ CM-D457B

2020年度受賞 ▶
・ TB-G008JPW
・ DR-F281W



GOOD DESIGN AWARD 2020

2020年度
新商品

ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール



経済産業大臣賞
(グランプリ)
・ SC-DF25WL

審査委員特別賞
・ CM-D465B



博報堂とのパートナーシップによるブランディングの加速

- ✓ ツインバードファンの拡大、LTV（ライフタイムバリュー）の最大化
- ✓ **長期視点で攻めの戦略投資実行**：販売拡大を目指した大きな「リブランディング」「MD再編成」
- ✓ **株式会社博報堂と2021年3月にパートナーシップ契約締結**：「共創」の企業理念に基づく協業
 - 著名クリエイターや事業経験のあるスタッフィング + 広告/PRの展開
 - D2C事業の体制構築



1

- 高付加価値製品の継続的市場導入
- 戦略的なメディア露出

3

- SNS・自社メディアを通じたユーザーとのコミュニケーション

2

- 顧客タッチポイントの品質向上
- トーン&マナー統一

4

- D2C事業の社内体制整備・CRM強化

※詳細は2021年秋に記者発表などを通じて皆様にご報告申し上げます。

今後のFPSC事業拡大への取り組みの方向性

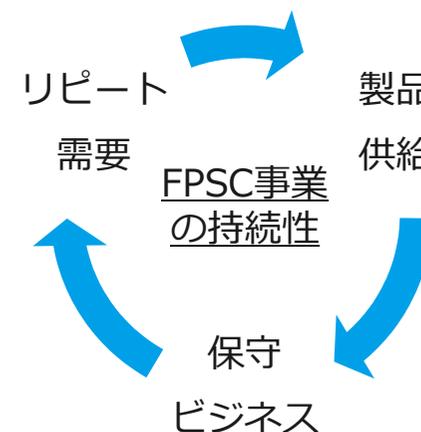
当社スターリング冷凍技術が医療分野でスタンダードの一つとなるよう取組み継続

- グローバル規模での最新技術に基づくコールドチェーンの構築や医療サービスの拡充に参画

国内 需要	製品供給	<ul style="list-style-type: none"> 自治体・職域などでの追加需要への供給継続 次年度以降新型コロナワクチンが定期接種化された場合を想定した需要への対応 より広範なニーズに対応すべく製品機能・プラットフォーム強化
	保守 ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心なワクチン接種を継続するためのサービスビジネスの立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> - 定期メンテナンス、リフレッシュなどサービス拡充
	リピート 需要創造	<ul style="list-style-type: none"> 接種現場のお客様との接点強化による製品のライフタイムを通じた接種現場のニーズへのきめ細かい対応 (増設需要・代替需要・サービス拡張)
海外需要		<ul style="list-style-type: none"> 国際機関JICAなどを通じた完成輸出の加速 <ul style="list-style-type: none"> - 東ティモール向け完成品(SC-BV25)輸出始動、対象地域拡大 海外新規販路の開拓加速による大型受注獲得



ディープフリーザーSC-DF25WL



【免責事項】

- 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

補足資料

セグメント別数値の記載方法変更について

セグメント別数値の記載方法変更について

- ✓ 当第1四半期連結会計期間より、従来、「家電製品事業」及び「FPSC事業」に配分していた当社の管理部門の一般管理費について、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

【2022年2月期第1四半期実績】

➤ 方式変更前（前期決算時の開示方式）

単位：百万円

	家電製品事業				FPSC事業				全社			
	FY21	FY20	増減	成長率	FY21	FY20	増減	成長率	FY21	FY20	増減	成長率
売上高	2,803	2,245	+557	+24.8%	1,142	69	+1,072	+1539.1%	3,945	2,315	+1,630	+70.4%
営業利益	191	△147	+338	△230.1%	475	7	+468	+6243.6%	667	△139	+806	△578.0%
利率	6.8%	-6.5%	+13.4pt		41.6%	10.8%	+30.9pt		16.9%	-6.0%	+22.9pt	

➤ 方式変更後（当第1四半期連結会計期間より）

単位：百万円

	家電製品事業				FPSC事業				調整額（全社費用）				全社			
	FY21	FY20	増減	成長率	FY21	FY20	増減	成長率	FY21	FY20	増減	成長率	FY21	FY20	増減	成長率
売上高	2,803	2,245	+557	+24.8%	1,142	69	+1,072	+1539.1%					3,945	2,315	+1,630	+70.4%
営業利益	346	69	+277	+402.1%	539	14	+524	+3691.5%	△218	△222	+3	-	667	△139	+806	△578.0%
利率	12.4%	3.1%	+9.3pt		47.2%	20.4%	+26.8pt						16.9%	-6.0%	+22.9pt	



I R に関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 執行役員 経営企画本部 本部長 小林 和則 (TEL : 0256-92-6111)

決算に関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 最高財務責任者 執行役員 管理本部 本部長 高木 哲也 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

©TWINBIRD CORPORATION All rights reserved.